



前進

第1号

4月26日発行

文責：濱田

育てたい力：共感力・探究力・協働力

創立152年目という歴史と伝統ある佐敷小学校の校長職4年目を拝命することとなりました濱田良彦です。三岳精神を教育理念とする佐敷小の学校経営を担うことのやりがいとともに、「子どもの命を預かり、守り、育てる」役目をもつ学校の校長としての責任の重さも毎日ひしひしと感じています。しっかり地に足をつけ、どっしり腰を据え、じっくり冷静に頭で考えながら、佐敷小の子どもたちがたくましく成長していけるよう自覚と覚悟をもって今年度も経営に当たる所存です。

昨年度は、台湾の小学生との交流、人権教育ブロック研修会の開催、町指定英語教育研究推進校研究発表会など、様々な行事がありました。職員は一丸となって取り組み一体感も生まれましたが、必要以上の多忙感が生じたことも否定できません。そこで今年度は、「じっくりと教育活動に取り組み、子供たちに力をつける1年に」をテーマに、丁寧に教育活動に取り組んでいきたいと考えています。

特に、今年度の佐敷小学校の重要なミッション(使命)を次のように考えています。

(1) コミュニティ・スクール(学校運営協議会)・地域学校協働活動の充実

コミュニティ・スクールは、学校の教育諸課題の解決を図ることを目的とし、学校経営に地域住民の参加を促し、地域の特色を生かす教育を推進するために学校運営協議会を設置するものです。一昨年からスタートし、佐敷中校区で1つの学校運営協議会を設置しています。今年度も5回の会議を予定しており、委員の方々のご意見を学校経営に取り入れ、評価も行っていただくこととしています。

また、地域学校協働活動は、地域の方々や各団体・機関など、幅広い地域住民に学校の教育活動に参画いただき、地域全体で子供たちの育ちを支えていく諸活動のことです。佐敷中校区推進員の塔尾さんにコーディネートしていただきながら、多くの方のご支援・ご協力を賜り、教育活動を充実させていきます。

(2) 安全・安心して学べる学校

令和2年7月豪雨から4年目を迎えようとしています。子供たちにとって安心して生活し学べる学校づくりに力を入れていきます。特に子供一人一人の思いに耳を傾け、いじめの未然防止等に全職員で取り組んでいきます。

(3) 3つの部会の充実

佐敷小学校にはからだサポートプロジェクト、こころサポートプロジェクト、まなびサポートプロジェクトの3つの部会があります。先生方の主体性とアイデアの共有を目的に、子供たちの成長に生かせるよう、その充実を目指します。

今年度の学校通信のタイトルはこれまでに引き続き「前進」としています。このタイトルで4年目の学校通信を発行できる喜びをかみしめながら、学校の状況や校長の思い等を随時発信していきたいと思えます。どうかご一読いただければ幸いです。

◎今年度も交通安全教室に協力いただきました。

昨年度に引き続き、花東地区の皆様に来校いただき、各学年の交通安全教室でご指導をいただきました。芥川区長様をはじめ3日間で9人の方にご参加いただき、交通安全の心構え、信号機のある横断歩道の渡り方などを一緒に歩きながら教えていただきました。充実した時間になりました。心より感謝申し上げます。



職員紹介 令和6年度の「チーム佐小」（本校職員）です。今年も合い言葉は ONE TEAM



最前列左から

山口（1年1組担任）

岩崎（1年2組担任）

山下（6年1組担任）

宇田津（教頭）

濱田（校長）

松永（主任事務長）

前田（なかよし1組担任）

寺川（教務主任）

百原（2年1組担任）

2列目左から

瀧川（4年1組担任）

鬼塚（4年2組担任）

山崎（5年1組担任）

開田（5年2組担任）

本山（理科専科）

鳥居（算数T. T）

福田（英語専科）

橘（算数T. T）

3列目左から

木下（なかよし2組担任）

藪下（3年1組担任）

松下（授業支援員）

柳迫（授業支援員）

迫本（授業支援員）

橋本（2年2組担任）

平松（なかよし3組担任）

3列目左から

坂口（講師：栄養）

松本（事務職員）

岡本（授業支援員）

才荷（授業支援員）

石田（校務員）

岩田（養護教諭）

※この他、古閑(栄養教諭)、佐敷中と兼務で中松(養護)もおります。